平成30年度実施　第1回沖縄県青少年の家に係る指定管理者制度運用委員会
（モニタリング検証結果について）

１　日　時　：　平成30年7月25日（水）13:10～15:15
２　場　所　：　県立石川青少年の家　1F 第2研修室
３　出席者　：　沖縄県立青少年の家指定管理者制度運用委員会委員６人
　　　　　　　　事務局ー生涯学習振興課長、管理班長、社会教育班員、管理班員
４　検証事項：県立青少年の家6施設（名護、糸満、石川、玉城、宮古、石垣）の
　　　　　　　　平成29年度実績モニタリング検証結果の検討について）
５　検証内容：
　　（1）指定管理者及び県が実施するモニタリングは適切に行われているか
　　（2）指定管理者に対する県の指導・助言は適切に行われているか
　　（3）利用者アンケートや苦言に対する指定管理者や県の対応は適切に行われているか
６　検証方法：
　　事務局（生涯学習振興課）によるモニタリング報告の後、質疑応答を行いながら各項目について検証を進めた

【沖縄県立青少年の家全施設に係る質疑応答について】

施設全体	主な質問・指摘・意見	回答等
研修について	・収支資料で、研修に係る経費（参加費等）の支出項目はどれか。 ・業務仕様書には職員研修を受けるべきとある。個人的に、沖縄は島嶼県であるため、他県や近隣施設とのレベルアップの意識が低いと想定しているが、積極的に本土のいろんな全国的な研修をはじめキャンプ研修なりを受講して欲しい。それぞれの施設が何年かやっているプログラムをただひたすら続けるのではなくて、スキルアップの意味で研修をすごくやってほしい。	・研修に係る経費は、主に旅費に計上される。外部研修費は、研修を受けた職員に対して指定管理会計から旅費として支出する。施設内研修については、プログラム研修であれば材料費、会議であれば会議資料費などが、主に需用費で計上される。
備品について	・各施設とも概ね備品費が計上されていない。利用者意見の中に、テントがとか、せめて扇風機とか、備品に関する意見がいろいろある。しっかり備品費を計上すべきと思う。 ・収益があがっている施設ほど備品費が計上されていない。備品を買っても最終的には県の物になるといことで買えないのか、あるいはあるもので済ましているのか。特にテントなどは命であるから、是非、苦情があるものについては不足のないようにやってほしい。 ・宮古、石垣以外はほとんど備品費は計上されていない。	・基本的な考えとして主要備品等は県が貸与し、破損や経年劣化に伴う対応は、指定管理者と県とで協力しながら実施している。 ・テントについてはH29年度、各施設必要分を更新した。 ・県の備品費予算確保についても各所の実態に基づき、利用者への影響などを考慮しながら対応している。 ・県の貸与する備品以外で、各指定管理者が購入した備品の取り扱いについては、業務仕様上、指定管理者と県とで協議することになっている。指定管理料で購入した備品については、県の備品として引き取りたいと考えている。 ・本当に自分たちで所有したい備品は、指定管理者本部の会計で購入してもらえればと話を進めている。なので、指定管理の会計で計上がなくとも、本部会計で計上している場合もある。そういった会計処理の違いもあり、各所の備品費の差が出ていると考える。
〃	・施設備品について、各施設とヒアリングを行っているか。 ・備品関係の対応については、しっかりやってほしいと思う。実際、使う側になるといろいろ要望がでているので、ヒアリングをしっかりして、予算計上できる仕組みをつくってほしい。	・年度初めに各施設、備品についての要望調査を行い、こういった物が欲しい、こういう物が使えなくなっているという報告を受ける。その後、県営繕担当が各施設要望の中から優劣をつけ、予算の範囲内で措置している。 ・昨年度はバードウォッチングの望遠鏡を買ったりと、施設の要望に応じて新たな備品の貸与も実施している。施設からの要望を受け止め措置していくよう取り組んでいる。
研修について	・業務仕様書に研修についての記載があるが、これは指定管理者に熟知されているか。	・全国研修会議、九州研修会議には、所長をはじめ施設職員が参加しており、県立6施設プラス国立1施設が集まっての施設間研修、県主催の研修とあわせ、最低4つの研修へは毎年参加している。 ・プラスαの研修については、石垣・宮古間で交流研修を実施していたり、各々施設内での研修を実施したとの報告を受けており、概ね適正に実施されていると考える。 ・一方で、別委員から指摘があったように、県外の情報を取り入れる取り組みや、専門職員向けの研修（専門的知識を磨くような研修）に参加する取り組みも必要だと感じるが、なかなか取り組めていない状況にあるかもしれない。

施設全体	主な質問・指摘・意見	回答等
〃	・各施設の職員のレベル差や資質はどうか。	・各施設共にレベルは保たれている認識であるが、新しい取組として(プログラム等を)どんどん更新していく部分は弱いのかなという印象も受けている。その点については、見直しも必要と考える。
〃	・研修について、自身が学校にいた経験から職員を派遣するよりは、講師を招き、みんなで研修を受ける方が底上げにつながるのではと思うので、この辺も検討していただきたい。	・昨年、名護で行った施設間研修の際には、マーケティングについての外部講師を招き、施設広報の研修を実施している。施設としても外部講師の活用については、実際に試行錯誤している。委員の意見も取り入れながら進めていけたらと考えている。
労務について	・開所日が非常に多いことから職員の時間外勤務が気になるが、36協定は実施されているか。何か起こってからではまずい。公の機関なので。時間と給与が合わない気がする。	・去年も指摘があったことから、各所確認を行っている。時間外については、ほとんどの施設が振休で対応しており、出勤簿等で処理状況も確認している。勤怠管理には、気をつけていただくよう指導している。 ・名護、糸満については時間外給与が払われており、外部監査も実施され、概ね適切に行われているかと思う。 ・ただ、実態として振休をしっかり消化できているか、サービス残業がないか等について、徹底指導していく必要がある。
〃	・先週、仕事で宮古、石垣を回って県から医療機関関係業務を受託している会社に行った際、現場の人手不足が深刻化しており、職場環境を改善していかないといけないと感じた。賃金と休暇をしっかり与えてあげないといけない。そうしないと職員が集まらない。県の受託職員が民間に逃げている。今の労働環境、人がいないから休みがとれない、残業しないといけない、予算が決まっているから残業手当がもらえない。悪循環を起こしている。受託料金が大きな負担になってしまっている。県の事業自体がおかしくならないか懸念している。 ・実情をしっかりキャッチボールをしているか。現状を踏まえていた方がいい。36協定どころじゃないという認識を踏まえておいた方がよいのではないかなと。特に宮古八重山は本島よりずっとひどい状況だった。	・昨年の募集の際に、県が積算した人件費について公表を行い、それによって指定管理者側が適正な人件費を支払っていただけるよう働きかけたところである。実際、名護と糸満については給与の改善がみられており、他施設も更新に際して、同様の措置により給与の改善が見込めると考える。県としても、全国の給与平均から人件費を見積り、指定管理料を積算しているので、それに近い形でしっかり執行していただけるような環境作りに取り組んでいるところである。
収支について	・施設利用者1人当たりの収入(全収入を利用者数で割ると)が、名護だと1272円。同様に1人当たりの支出が1405円。そうすると名護は前年に比べて利用者1人当たりの収支差異は174円のマイナス。去年より運営が厳しくなっている。同様に糸満が20円、石川が40円、玉城が37円の改善、宮古八重山は宮古84円、石垣が35円のマイナス。1人あたりにすると収支が良くなっている状況と悪くなっている状況がある。 ・全施設の平均だと、1人当たりの収入が1,210円。1人当たりの費用が1,204円。収入の方が多い。 ・一番差がついているのが糸満。利用者数がかなり多いため、1人あたりの収入が947円。1人あたりの支出が886円。利用者がいればいるだけ収益があがっている。利用者が少ない宮古が1人あたりの収入が1,518円で、1人あたりの支出が1,566円。利用者が多いと負担も少なく、逆に利用者が少ないと負担も支出もかかる。人件費等の固定費の部分が大きく関わっている。利用者の数によって施設にかかる金額が違ってくる。 ・1人当たりの支出が石川と宮古では、昨年度に比べ石川が208円減り、宮古の方は207円増えている。全体的には去年よりも56円支出が増えている(1人当たりへお金をかけている)。	―
〃	・糸満が黒字額は一番大きい。過去4年トータルで990万。ここだけマイナスがないのは良いやり方があるのか。こういったプラスになるような。	・客が来ても来なくてもかかる費用を固定費というが、固定比率が低くなると収益構造上良くなっている。糸満は利用者が多いので変動費率が高い。逆に宮古は利用者が少ないので、変動費率が低くなる。そうすると収益が出やすいところと出にくいところ、財務のバランスの構造上でてくる。糸満は変動比率の割合がどの施設よりも高い。(別委員より回答)
〃	・受託事業へは、想定する利益をしっかりあてさせていただきたい。 ・受託事業が指定管理料で利益を出していないか。理想的には指定管理料にプラス自主事業をして利益をだす。 ・かねてから気にしていた指定管理料で利益を出しているかを見ていくと、全施設とも事業等で利益を出していく体制を作っていっている。数字上みた範囲ではいい状況に変わってきたと思う。 ・各施設の利用者コストというのは利用者に対するサービス、質にうつるものだが、前年よりもコストを(全施設平均で)56円一人当たりかけてきている。 ・全体の印象的には数字のバランスがだいぶよくなってきていると感じているので、引き続きお願いします。	―

【県立宮古青少年の家に係る質疑応答について】

宮古	主な質問・指摘・意見	回答等
事業について	・受け入れの方のアンケートの回答数が少ないのは、確か去年もだったと思う。他の施設に比べると圧倒的に少ない。依頼するのは気が引けると思うが、きちんと評価したいので丁寧に取り組んでいただきたい。	・改善に取り組んでもらう。
収支について	・公課費の計上漏れがあって、昨年はその他公課費、今回は消費税のほう。ここは施設の運営のためのNPO法人と聞いているが、毎年ここでつまずくので、事業計画の段階でチェックしていただいて、指示をいただけたらと思う。	・改善に取り組んでもらう。 ・我々の方でもしかりフォローする。
〃	・利用者１人当たりのコストをかかりすぎていないか。去年1,359円だったのが今年は1,566円と207円コストアップしている。コストがかかっている要因をみながら赤字の要因につながっていないか見てみるのもいいかと思う。	・参考にする。

７　検証結果：

モニタリング検証にあたり、沖縄県立青少年の家及び、県立宮古青少年の家の指定管理運営状況について上記の評価を得た。指定管理社及び県が実施するモニタリングについて課題・検討事項を踏まえながら今後も適切に行いたい。

県立宮古青少年の家H29実績モニタリング

Ⅰ．履行確認

１．維持管理業務

⑴ 清掃

⑵ 保守・点検

⑶ 保安・警備

⑷ 小規模修繕

⑸ 備品購入

⑹ 防犯・防災対策

⑺ 料金徴収業務

２．運営業務

⑴ 利用実績

１）利用者数

２）施設稼働率

３）受付・接客

４）広報

５）情報管理

（２）主催事業

（３）自主事業

Ⅱ．サービスの質の評価

1．受入事業

維持管理業務

運営業務

2．主催･自主事業

運営業務

3．総合評価

Ⅲ．サービスの安定性評価

１．事業収入

⑴ 収入

⑵ 支出

２．経営分析指標

県立【宮古】青少年の家　指定管理者　モニタリングシート

Ⅰ．履行確認

１．維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施主体(該当者に○)		実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
〈日常清掃〉	○		所長・職員にて館内、屋外植栽等の清掃美化を実施	所内巡回確認 書類確認	適正	現地確認により適切に実施されていた。清掃も区分割り当てにより適切に管理されている。
〈定期清掃〉	○	○	・全体清掃(毎週金曜日実施) ・大清掃年1回業者委託 (2月28日～3月3日) ・塵芥収集委託(週2回)	契約書、実績報告書及び現地確認	適正	契約書、実施報告書及び現地確認により適切に実施されていた。

(2) 保守・点検

事業計画	実施主体(該当者に○)		実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
施設職員による点検	○		職員による安全点検 （毎週火曜日に実施）	所内巡回確認 書類確認	適切	所内巡視等により適切に実施されている。
電気設備点検		○	月1回 4/10.5/15.6/19.7/12.8/15.9/20.10/21.11/10.12/9.1/18.2/14.3/13	契約書、実施報告書等により確認	適正	実施報告書等により、適切に処理されていた。
消防設備保守点検		○	年2回　7/4．1/19	契約書、実施報告書等により確認	適正	消防点検報告書等により、適切に処理されていた。
簡易水道設備点検		○	・受水槽清掃消毒業務年1回 ・高架水槽清掃消毒業務年1回 ・水質検査業務年48回 ・貯水槽・給水設備点検年12回	契約書、実施報告書等により確認	適正	実施報告書等により、適切に処理されていた。
浄化槽設備点検		○	・受水槽清掃消毒業務年1回 ・高架水槽清掃消毒業務年1回 ・水質検査業務年48回 ・貯水槽・給水設備点検年12回	契約書、実施報告書等により確認	適正	実施報告書等により、適切に処理されていた。
ボイラー設備保守点検		○	・保守点検年2回　4/14.7/11 ・分解整備年1回12/1	契約書、実施報告書等により確認	適正	実施報告書等により、適切に処理されていた。

(3) 保安・警備

事業計画	実施主体(該当者に○)		実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
保安警備		○	職員退勤後翌出勤時までは機械警備、宿泊者がいる場合は職員と警備会社(有人)で保安警備17:00～8:30	警備日誌・契約書により確認	概ね適正	契約書に、機械警備時には警備会社の夜間巡回が取り決められているが、実施報告書等の取り交わしがなく、履行確認ができない。今後要改善。

(4) 小規模修繕

事業計画	実施主体(該当者に○)		実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
1件50万円未満の修繕を実施。	○	○	計　　件 ・炊飯場トタン張替(業者委託)他 ・炊飯場水切棚修繕(指定管理者) ・水上バイク修繕(業者委託)	修繕費一覧表、請求書等で確認	適正	今後も所管課との連携を図りながら、計画的な修繕に努めること。

(5) 備品購入

事業計画	実施主体(該当者に○)		実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
当初予算　1100千円	○		計　1件 チェーンソー58，800円	領収書及び現物確認	適正	所管課と連携を図りながら、計画的な備品整備に努める。

(6) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体(該当者に○)		実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
消防訓練	○		年2回 ・12/19実施(12/19報告) ・ 3/14実施(3/15報告)	実施計画書、実施報告書、消防届出により確認	適正	今後とも法令に基づく訓練は、確実に実施すること。
避難訓練	○		3/14実施(3月15日報告)	実施計画書、実施報告書により確認	適正	今後とも緊急時に備え、計画的に実施すること。

(7) 料金徴収業務

事業計画	実施主体(該当者に○)		実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
施設利用料徴収	○		平成29年度 徴収実績　663，790円	報告書、領収書により確認	適正	今後とも、各種法規や所内ルールに基づき、適切に処理すること。
実費負担等徴収	○		平成29年度 徴収実績　638，661 円	報告書、領収書により確認	適正	今後とも、各種法規や所内ルールに基づき、適切に処理すること。

※維持管理業務については、必要に応じて項目を追加して記入して下さい。

２．運営業務

（1）利用実績

１）利用者数

		事業計画	実績	整合性の検証 (計画達成率 %)	業務改善に向けた分析
利用者数	利用者実数	23,922	22,175	93%	利用者実数、利用者延べ数ともに計画を上回る実績となっている。
	利用者延べ数	27,299	24,826	91%	

２）施設稼働率

		事業計画	実績	整合性の検証 (計画達成率 %)	業務改善に向けた分析
開所日数		349	357	102%	利用延べ人数は約2500人減少している。背景には少子化問題や学校関係者の利用減が考えられる。
利用日数		349	357	102%	
利用率		99%	100%	101%	
利用延べ人数		24,383	27,299	112%	
	学校教育	6,915	6,915	100%	
	社会教育	8,973	8,973	100%	
	その他	11,411	11,411	100%	
施設別利用		9,663	24,826	257%	宿泊室や研修室の利用が減少している。小学校の集団宿泊など宿泊研修の利用減が影響していると考えられる。
	宿泊室	5,850	2,077	36%	
	研修室	3,545	2,959	83%	
	体育館（プレイホール）	2,740	2,743	100%	
	キャンプ場	527	574	109%	
	その他	0	0	#DIV/0!	

３）受付・接客

事業計画	実施主体(該当者に○)		実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
・毎日勤務前ラジオ体操を励行し健康の維持増進を図る。・体操後ミーティングを行い当日の予定・対応等を確認。 ・毎週火曜日に職務会を実施し、スケジュールの確認を行う。	○		・ミーティングでその日の業務の確認を行う。 ・職務会議において事業等の確認、問題点等を協議する。	実施報告書等により確認	適正	常に利用者の立場に立ち、今後も誠意ある対応を心がけること。

４）広報

事業計画	実施主体(該当者に○)		実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
ホームページ、新聞、所内掲示、地元テレビ、地元ラジオで広報を行う	○	○	ホームページ、新聞、所内掲示、地元テレビ、地元ラジオで広報を行っている	実施報告書等により確認	適正	今後も精力的な広報活動に努めること。

５）情報管理

事業計画	実施主体(該当者に○)		実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
個人情報の適切な管理を行う。	○	○	会議等により全職員へ取り扱いについて注意喚起を行っている。	実施報告書等により確認	適正	全体的に適切な管理が出来ている。

（２）　主催事業

事業名	実施期日	対象	事業計画（定員）	実績（参加人数）	整合性の検証（計画達成率　%）	業務改善に向けた分析
ようこそ森のきょうしつへ！大野山林自然散策	4月22日	親子一般	30	27	90%	当日のキャンセルもいたが、ほぼ計画通りの実績である。実施時期として、渡り鳥や昆虫の観察は早く不向きであり、今後開催時期を検討する必要がある。
春のファミリーキャンプ	5月4日	親子（10家族）	30	56	187%	計画を大きく上回る実績となった。安全面や対象者のニーズを考えると、今後は事業回数を増やすなど開催方法を検討する必要がある。
ファーブルの心になれるかな～野外活動少年団第一次～	5/27～28 6/10～11 6/24～25 7/1～2 7/8～9	学校グループ	30	42	140%	参加総数としては計画を上回る実績だったが、時期によっては参加申込数に差がみられた。今後は、海浜活動だけではなく、野外（山林）活動の充実も検討してもらいたい。
大野山林チャレンジキャンプ	8/4～8/8	小学生	30	21	70%	計画を下回る実績となった。活動拠点となる地域（浦底）の事を調べ、参加者へ昔の生活を体験してもらうなど事業内容を再検討する必要がある。
夏の星座観察会	8月6日	親子一般	30	47	157%	計画を上回る実績となった。天候に左右される事業のため、雨天時の代替プログラムを充実させること。また観測中は観測していない参加者のためのプログラムも準備すること。
秋の夜空をながめよう（星座観察会）	11月18日	親子一般	30	14	47%	台風により日程変更が２回もあり、計画を下回る実績となった。天候に左右される事業のため、雨天時の代替プログラムを充実させること。
ジュニアサイクリングキャンプ	11月24日	小４～６	15	14	93%	ほぼ計画どおりの実績である。参加児童の体力差のためサイクリング隊列が長くなり、交通整理用員がうまく配置できない箇所があった。安全対策を万全に行うこと。
冬のファミリーキャンプ	1/6～1/7	10家族	30	23	77%	計画を下回る実績となった。開催時期の見直しを検討する必要がある。
大野山林通学合宿保護者説明会　やーなれ連家事業	2月1日	参加者保護者等	－	53	－	通学合宿に参加する児童の保護者が家庭教育について他の保護者と情報交換する良い企画である。今後も継続的に事業運営をしてくとともに、関係施設・団体との連携を図ること。
大野山林通学合宿	2/6～2/10	小４～６	20	18	90%	ほぼ計画通りの実績である。対象校との連携を密に行い、事業を運営することができている。施設内だけでなく、通学路の安全点検もおこなうこと。
宮古青少年の家まつり	3月4日	県民一般	－	916	－	地域行事と重なり参加者が昨年より減少した。次回は地域行事に関する情報を事前把握し、適切な開催日を決定すること。

（３）自主事業

事業名	実施期日	対象	事業計画（定員）	実績（参加人数）	整合性の検証（計画達成率　%）	業務改善に向けた分析
ふしぎなポケット	4月16日	小学生	30	42	140%	計画を上回る実績となった。中学生の参加者が落ち込んだので、今後は中学生にとって興味関心のあるプログラムを開発する必要がある。
大野山林（うぷにやま）展	5/10 ～ 5/16	一般市民	なし	172	－	野鳥のはく製が古くて展示できる数が限られた。野鳥の鳴き声をエンドレスで流すＣＤを作成するなど、展示の仕方を工夫する必要がある。
畑で旬を体感しよう	①5/13　②6/10 ③7/8　④8/19 ⑤中止　⑥10/8 ⑦11/12　⑧2/11 ⑨2/15　⑩3/17	親子 一般	15組	152	－	全体活動日を設定するが、全家族が集まることが出来なかった。今後は全体活動日の日程調整の仕方を工夫する必要がある。
ＭＹＨクラブ	5/13 6/17 8/25 12/2	親子 一般	80	116	145%	継続した学習活動は各家庭の事情もあり、困難な状態である。今後はシリーズではなく、事業毎に募集するなど募集方法や学習活動の仕方を工夫する必要がある。
親子海浜活動	7月17日	親子	45	24	53%	計画を下回る実績となった。広報の仕方を工夫する必要がある。海浜活動中（高野～浦底漁港）、参加者には携帯電話を携行するなど連絡体制を万全にすること。
みんなでなかよく日帰りキャンプ	7月30日	親子	50	70	140%	事前の関係機関への訪問など広報に力を入れたことで計画を上回る実績となった。次回も関係機関との理解・協力の上、事業に取り組むこと。
第７回大学塾～夏休み宿題御助け隊～	8月24日	中学生 高校生	30	32	107%	計画を上回る実績である。大学生ボランティアを確保できる体制づくりを整えること。また、夏休みの宿題対策を中心にした展開を検討するなど対象者に即した事業内容を検討する必要がある。
大野山林夜の散策	9月29日	一般親子	30	12	40%	計画を下回る実績となった。広報の仕方を工夫する必要がある。今後は、季節や時間帯別の自然の変容に気づく内容を取り入れるなど内容を工夫し、魅力あるプログラムを開発すること。
子ども体験遊びリンピックIn宮古	10月15日	一般県民	－	510	－	予想を上回る参加があった。次回の開催に向けて、駐車場の確保・雨天時の対応・食堂の混雑時の解消法等を検討すること。

Ⅱ．サービスの質の評価

１．受入事業

評価項目		第三者（利用者等）評価	指定管理者 自己評価	業務改善に向けた分析
維持管理業務	研修で利用する施設・設備・用具について	とても良い　44.5%（１５票） 良い　44.5%（１５票） 普通　9%（　３票） 悪い　0%（　０票） （良い意見） ・施設の環境が整備され安全安心な研修ができた。 ・施設の環境が整備され心地よい空間とサ　ポート体制の構築が高い。 ・研修室にあるテレビが良かった。 ・パソコンと接続しはっきりと見えた。 （悪い意見） ・洗濯機が一台エラーが多くて苦戦した。 ・中研修室の長テーブルがなかなか設置できなかった。	アンケートの結果からとても良い、良いで８０%の評価を頂いており、引き続き「安全管理日」と「施設点検日」を実施し施設の維持に努めます。	・利用者の評価は高い。今後も「安全管理日」や「施設点検日」を設定して各所点検業務を行うなど、施設の維持・管理に努めること。 ・施設修繕に関しては、所管課と連携を図りながら計画的な修繕・備品購入に努めること。
	宿泊で利用する施設・設備について	とても良い　36%（13票） 良い　47%（17票） 普通　17%（6票） 悪い　0%（0票） （良い意見） ・清掃されていて気持ちよく利用できた。 （悪い意見） ・宿泊室のドアの開閉が重く、音が鳴っていた。 ・暑かった。 ・シーツのにおいが気になった。	定期的に点検を実施し不具合がないように努めた。	今後も各種点検業務を行い、利用者が宿泊しやすい環境づくりを心がけること。
	浴室・トイレの施設・設備について	とても良い　28%（10票） 良い　42%（15票） 普通　28%（10票） 悪い　2%（1票） （良い意見） ・清掃されていて気持ちよく利用できた。 （悪い意見） ・浴室のお湯が出にくかった。 ・お湯の温度調整が難しいようでした。 ・ヤモリの糞が少し気になりました。 ・清掃用具の充実をお願いしたい。	アンケートでの「悪い」の結果を受け止め改善に努めた。	・施設の老朽化による不具合に関する利用者の意見を参考にして、今後もこまめに点検をおこない、修繕が必要な場合は所管課と連携を図り、計画的におこなうこと。
	食堂の施設・設備について	とても良い　34%（12票） 良い　46%（16票） 普通　20%（7票） 悪い　0%（0票） （良い意見） ・満足です。 （悪い意見） ・夏はエアコンがあると良い。	衛生面に気を配り害虫駆除、食堂内の換気、温度管理に注意し運営している。	今後も利用者が安心して利用できる環境づくりを心がけること。

運営業務	食堂の提供するメニューについて	とても良い　38%(14票) 良い　30%(11票) 普通　24%(9票) 悪い　8%(3票) （良い意見） ・美味しかったです！。 ・アレルギーに対する細かいご配慮に感謝 　です。 ・おかずの種類もあり満足です。 （悪い意見） ・夕食が冷たかった。 ・揚げ物がちょっと多いかな・・・ ・味が濃い。 ・食材に工夫がほしい。 ・いたみのある食材もあった。（玉葱等） ・量が多い、食べきれない ・おかずが少ないように感じました。 ・メニューの割に高い。 ・女子には少し多いきがする。	毎食職員による検食を実施し、安全性、味、量、バランスをチェックし満足のいく食事の提供に心がけている。	・利用者の声を参考にして、今後もより良い料理が提供できるよう、食堂と連携を密にしてメニューの改善に努めること。
	施設が提供する活動プログラムについて	とても良い　65%(24票) 良い　27%(10票) 普通　8%(3票) 悪い　0%(0票) （良い意見） ・雨天の中でも親身になって実施してもらいありがたかったです。（新規） ・五感を意識させる。（草木の匂い、鳥の声、食べられる野菜、木の手触り、葉の色等） （悪い意見） ・自転車コースは少し整備して欲しい。	事業毎のアンケート結果を基に改善を図っている。	常に安全対策を怠らず、利用者が安心して活動プログラムを利用できるよう注意すること。
	電話や窓口での対応、プログラムの指導について	とても良い　62%(23票) 良い　30%(11票) 普通　8%(3票) 悪い　0%(0票) （良い意見） ・いろいろな活動にたくさんの職員に対応して頂き感謝です。 （悪い意見） ・特になし。	常に市民県民の立場に立って親切な対応を心がけている。	・利用者の評価は概して高い。これは各職員が常に市民県民の立場に立ち、親切な対応を心がけるという共通理解が図られている成果であると考える。今後も同様の対応を心がけること。

	施設の利用料金について	とても良い　58％(21票) 良い　31％(11票) 普通　11％(4票) 悪い　0％(0票) （良い意見） ・特になし （悪い意見） ・特になし	アンケートではとても良い、良いで８９％の回答を頂いていますので、それに見合う対応を心がけています。	利用者にとっては概ね納得のできる料金設定のようである。今後も利用したくなる料金設定に努めるとともに、サービス低下にならないよう心がけること。
	食事料金について	とても良い　46％(17票) 良い　32％(12票) 普通　14％(5票) 悪い　8％(3票) （良い意見） ・特になし （悪い意見） ・高いと感じました。	「高い」と言う意見もあるが、「「とても良い」、「良い」が７８％をしめており、改定の予定はありません。	「高い」と言う意見もあるが、概ね利用者は満足しているようである。今後も利用者が満足し納得出来る料金設定を心がけること。

２．主催・自主事業

評価項目		第三者（利用者等）評価	指定管理者 自己評価	業務改善に向けた分析
運営業務（主催・自主事業）	事前の広報について	とても良い　38％(77票) 良い　59％(118票) 普通　0％(0票) 悪い　3％(6票) （良い意見） ・特になし （悪い意見） ・友人に誘われなければ知らなかった。 ・広報している事を知らなかった。 ・もっと園とかにも周知してほしい。 ・スーパーにチラシを貼るといいと思う。	新聞、テレビ、ラジオ、ホームページ、所内掲示、各コンビニ等へ行事の周知告知をしているところですが、更によりよい周知の方法を検討していきます。	・利用者の評価は高い。利用者の意見を参考にして、今後もより効果的な広報の仕方を検討すること。 ・HPで各事業の募集期間を予告するとともに、各事業の内容が閲覧者にもわかるよう募集要項や前回の様子などを随時掲載すること。
	電話や窓口の対応について	とても良い　53％(113票) 良い　46％(98票) 普通　0％(0票) 悪い　1％(1票) （良い意見） ・家族の事も考えて対応してくれた。 ・前回参加した事を覚えてくれた。 ・とても丁寧に対応して頂きました。 ・スタッフの方々に感謝いたします。	常に親切丁寧に、対応することを職員共通理解のもと対応しています。	利用者の評価は高い。今後も、電話や窓口対応の仕方について職員全員で再確認し、市民県民の社会教育施設であることを忘れず親切丁寧に対応していくこと。
	事業の内容について	とても良い　55％(108票) 良い　43％(85票) 普通　0％(0票) 悪い　2％(5票) （良い意見） ・家族では出来ない体験だった。 ・とても安全で安心して楽しめました。 ・子供達も大喜びで、大満足でした。 ・普段経験出来ない事なので良かった。 ・今後も役に立ちそうな詳しい資料です。 ・観光では知れない体験ができた。 ・いろんな星のお話があって楽しかった。 ・説明だけではなく、実体験ができいい 経験できました。 ・普段見れない生き物に出会えてよかった ・山林の昼と夜の違いを学べて良かった。 （悪い意見） ・子供に難しかったのか集中出来ない部分があった。 ・子供と参加したが、内容が大人向けだと感じた。 ・親子で協力して行う体験学習があるといいなと思いました。	アンケートの結果結果からすると、「とても良い」「良い」で９８％であり概ね評価を頂いたと思います。	・全体的に利用者の満足度は高い。しかしその一方で悪い意見も出ているので、改善できる箇所は善処すること。 ・今後とも、職員同士で研鑽を積み、アイディアを出し合いながらプログラムの開発を心がけること。また、安全対策も万全に行うこと。

	講師の進め方について	とても良い　51％(114票) 良い　47％(107票) 普通　0％(0票) 悪い　2％(5票) （良い意見） ・知識が豊富で、話が面白かった。 （悪い意見） ・もっと子供に分かりやすいといいかな～ ・散策の時、バラバラになっていた。 ・もった長く講和を聞けると良かった。	講師と職員が綿密な打合せのもと実施を行っています	利用者の満足度は高い。今後も目的達成に向けた講師の選定に努めること。また講師とはこれまで通り事前調整を綿密に行うとともに、前回の利用者の意見も踏まえながら内容や進行の改善を図ること。
	参加費について	とても良い　51％(93票) 良い　48％(87票) 普通　0％(0票) 悪い　1％(2票) （良い意見） ・良心的です。 ・安くて、大丈夫かなと心配しました。 （悪い意見） ・特になし	参加費については最低限の実費徴収を行っています。	今後も利用者が満足･納得できる参加費設定に努めること。
	事業の時間配分について	とても良い　44％(84票) 良い　54％(105票) 普通　0％(0票) 悪い　2％(4票) （良い意見） ・特になし （悪い意見） ・長い。疲れた。	アンケート等を参考にしながら時間設置しています。	今後も利用者の意見やPDCAを通して、適切な内容、時間配分を心がけること。

３．総合評価

評価項目	第三者（利用者等）評価	指定管理者 自己評価	業務改善に向けた分析
総合評価	とても良い　49％(2025票) 良い　43％（1759票） 普通　6％（239票） 悪い　1％（21） 利用無し　1％（31票） （良い意見） ・部活動合宿で利用しました。施設・食事ともに良く、保護者への負担を少なく出来るようになりました。次回もぜひ利用したいです。 ・ご親切な対応で安心でした。 ・施設、整備、職員の対応全てに満足です。 （悪い意見） ・津波避難スペースが、ひらけて場所ではなく、子どもには危ないと感じた。 ・お風呂の電気切れてます。 ・網戸がボロボロで虫が入ってきます。 ・通信電波状況が悪くて困った。 ・自転車の整備不足（空気が少ない、ブレーキのきき）	アンケート結果から「とても良い」、「良い」を合わせると89％をしめており概ね良い評価が得られていると考えます。これからも安心、安全で活動できる施設の運営に努めます	全般的に適切な対応が出来ている。事業に際しては、開始直前に安全委員会を開いて最終点検を行ったり、看護師も同行させるなど万全な安全対策を心がけている。今後も各種目標の達成に向けて、職員同士で研鑽を積み、サービスの維持･向上に努めること。

※評価項目については、施設の態様に応じて適宜設定して下さい。

Ⅲ．サービスの安定性評価

１．事業収入

(1) 収入　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円）

収入項目		事業計画	実績	対計画比（%）	備考
利用料金収入	計	620	663	107%	
	宿泊室	500	504	101%	
	キャンプ場	20	26	130%	
	研修室及び訓練室	50	62	124%	
	プレイホール	50	71	142%	
指定管理料		36,392	36,392	100%	
主催事業収入（実費負担分）		0	0	－	
自主事業収入		30	21	70%	
事業収入その他（薪代・シーツ代等）		512	574	112%	
その他収入（自販機電気料等）		35	43	123%	
合計（A）		37,589	37,693	100%	

〈業務改善に向けた分析〉

対計画比はほぼ計画どおりの数値であったが、利用者の減に伴い、対前年度比の特に利用料金収入が落ち込んだ。社会教育施設として、潜在ニーズ等も含め、施設利用者の拡大に努め収入増を図ること。

(2) 支出　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円）

支出項目		事業計画	実績	対計画比（%）	備考
人件費		24,855	27,311	110%	
報償費		440	258	59%	
旅費		446	704	158%	
需用費		5,757	5,094	88%	
	消耗品費	707	1,016	144%	
	燃料費	250	291	116%	
	印刷製本費	50	63	126%	
	光熱水費	2,500	2,412	96%	
	修繕料	2,250	1,312	58%	
役務費		1,147	557	49%	
	通信運搬費	260	175	67%	
	手数料	677	285	42%	
	損害賠償保険料	0	0	－	
	火災保険料	110	32	29%	
	自動車保険料	100	65	65%	
委託料		3,350	3,500	104%	
使用料及び賃借料		424	562	133%	
備品購入費		1,100	59	5%	
負担金		20	18	90%	
公課費		50	1,525	3050%	
	消費税相当額分	0	1,421	－	当初予算計上漏れ
	その他公課費	50	104	－	
合計（B）		37,589	39,588	105%	

〈業務改善に向けた分析〉

対前年・計画比を超える支出規模になった。原因は、予算段階での必要費用の計上漏れがあったことにより、年度末に費目流用で対応した。適切な予算計画の作成と、執行管理の徹底が今後の課題である。

２．経営分析指標

評価指標	事業計画	実績	対計画比（%）	備考
事業収支 (収入(A)－支出(B))(単位:千円)	0	-1,895	―	
利用料金比率 (利用料金収入／収入(A))	2%	2%	107%	
人件費比率 (人件費／支出(B))	66%	69%	104%	
人件費比率 (人件費／収入(A))	66%	72%	110%	
外部委託費比率 (外部委託費合	9%	9%	99%	
外部委託費比率 (外部委託費合計／収入(A))	9%	9%	104%	
利用者あたり管理コスト(※) (支出(B)／利用者数)(単位:円)	1,377	1,595	116%	
利用者あたり自治体負担コスト(※) (指定管理料／利	1,333	1,466	110%	

〈業務改善に向けた分析〉

予算組み・執行管理に誤りがあり、事業収支は赤字となってしまったが、過去収支の留保で吸収できた。今後、適切な予算設定、執行管理を徹底することが至上命題である。

※経営分析指標の評価の考え方

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入－支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。
利用料金比率	利用料金収入／収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるのかを確認する。
人件費比率	人件費／支出	支出の中で人件費が減らされすぎていないか、それにより効率が低下していないかを確認する。
人件費比率	人件費／収入	収入の中に占める人件費がどの程度かを確認する。
外部委託費比率	外部委託費合計／支出	外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。
外部委託費比率	外部委託費合計／収入	外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。
利用者あたり管理コスト	支出／利用者数	１人あたりの利用者に対してどれだけのコストが費やされているか。コストが少なくても利用者が少ない、あるいは利用者は多いがコストがかかっているなど、前年度との比較、類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料／利用者数	１人あたりの利用者に対してどれだけの県による財政負担がなされているか。前年度との比較、類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。

労 働 条 件 等 自 主 点 検 表

施設名	沖縄県立宮古青少年の家
指定管理者名	特定非営利活動法人ばんず　　代表者　安慶田昌宏

※　以下の確認事項に従い、指定管理者による確認結果欄の該当する箇所に〇を付け、記入が必要な箇所については記入願います。

確認事項	指定管理者による確認結果

1　労働条件の明示

労働契約を締結するに当たり、労働時間、賃金、退職（解雇の事由を含む。）、安全衛生等の労働条件を労働者に対し明示していますか。この場合において、労働時間、賃金等に関する事項について書面を交付していますか。

労働契約の締結時には、パートタイム労働者を含むすべての労働者に対し労働時間、賃金、退職（解雇の事由を含む）、安全衛生等の労働条件を明示しなければなりません。特に、労働契約期間、有期労働契約を更新する場合の基準、始業・終業の時刻、所定時間外労働の有無等、約定賃金の決定、計算、支払の方法及び賃金の締切り、支払の時期等、退職（解雇の事由を含む。）については、書面を交付しなければなりません[労働基準法（以下「法」といいます。）第１５条]

就業規則、労働条件通知書を交付して労働条件全般について明示している	労働条件全般について口頭で明示するとともに、労働時間、賃金等に関する事項については書面を交付している	労働条件全般について口頭で明示しているが、書面の交付はしていない	労働時間、賃金等の労働条件の一部について のみ口頭で明示している	労働契約締結時には明示していない
1	2	3	4	5

（３～５については、改善が必要です）

2　就業規則

就業規則（労働時間、休日、休憩、休暇、賃金の定め方及び支払方法、退職（解雇の事由を含む。）等、労働条件の具体的細目を定めた規則）を作成していますか。また就業規則の内容が実際の勤務の状況に合っていますか。

常時１０人以上の労働者（パートタイム労働者を含む。）を使用する事業場では、就業規則を作成し、所轄労働基準監督署長へ届け出なければなりません（法第89条）
また、常時各作業場の見やすい場所への掲示、備付け、書面の交付又は電子機器の設置等により労働者に周知させなければなりません（法第106条）

常時使用する労働者は10人未満である。	常時使用する労働者が10人以上である			
	作成して監督署に届け出てあり、内容も実情に合っている	作成して監督署に届け出てあるが、内容が実情に合っていない	作成してあるが、監督署に届け出ていない	作成していない
1	2	3	4	5

（３～５については、改善が必要です）

3　所定休日

所定休日をどのように定めていますか。

休日は少なくとも毎週１日又は4週間を通じ4日を与えなければなりません（法第35条）

週休2日制				週休１日制		その他
完全（毎週）	月３回	隔週	月１～２回	週１日	４週４日	４週３日以下
1	2	3	4	5	6	7

（７については、改善が必要です）

4 年次有給休暇

年次有給休暇についてはどのように取り扱っていますか。

年次有給休暇は、6ヶ月間継続勤務し、全労働日の8割以上を出勤した労働者については10労働日、以降1年ごとに付与日数を増加しなければなりません（法第39条）

法定どおりの年次有給休暇を与えている	年次有給休暇を与えているが、付与日数が法定を下回っている	年次有給休暇を与えていない
1	2	3

（２、３については改善が必要です）

※年次有給休暇の法定の付与日数表（週所定労働日数が５日以上、又は、週所定労働時間が30時間以上の労働者の場合。）

勤続年数	0.5	1.5	2.5	3.5	4.5	5.5	6.5以上
付与日数	10	11	12	14	16	18	20

※なお、月30時間未満の労働者は比例付与することとされています。

5 健康診断

定期健康診断を実施していますか。

常時使用する労働者については、年1回定期に健康診断を行わなければなりません（労働安全衛生法第66条）。

なお、深夜業を含む業務等に常時従事する労働者に対しては6月以内ごとに1回定期に健康診断を行わなければなりません（労働安全衛生規則第45条）

毎年１回以上定期的に行っている	年によって行ったり行わなかったり一定しない	行ったことがない
1	2	3

（２、３については、改善が必要です）

6 最低賃金

地域別最低賃金以上の賃金を支払っていますか。

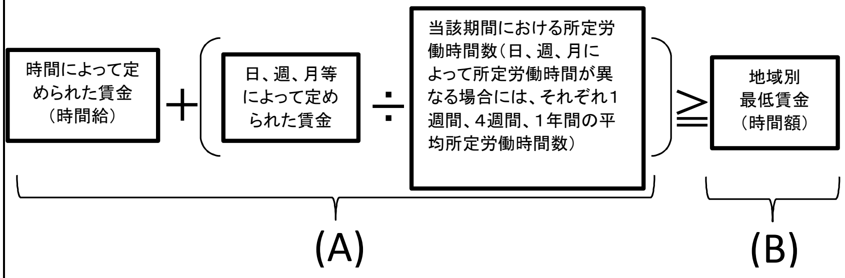
なお、地域別最低賃金には次の賃金は含まれません。

①臨時に支払われる賃金（結婚手当等）
②1月を超える期間ごとに支払われる賃金（賞与等）
③所定外・休日・深夜の労働に対して支払われる割増賃金
④精皆勤手当、通勤手当、家族手当

支払っている	支払っていない
1	2

（２については、改善が必要です。）

【支払う賃金(A)と地域別最低賃金 (B)の比較方法】



7 割増賃金

時間外労働・休日労働又は深夜労働を行わせた場合に、その時間に対する割増賃金は、どのように支払っていますか。

法定労働時間を超える時間外労働については、2割5分以上、法定休日における休日労働については3割5分以上、深夜労働（午後10時から翌日午前5時の間の労働をいいます。）については2割5分以上の割増賃金を支払わなければなりません（法第37条）。

※割増賃金の基礎となる賃金には、家族手当、通勤手当、別居手当、子女教育手当、住宅手当、臨時に支払われた賃金、一箇月を超える期間ごとに支払われる賃金は算入しません。

時間外労働・深夜労働について

２割５分以上の割増率にしている	２割５分未満の割増率にしている	時間外労働又は深夜労働をさせているが、支払っていない
1	2	3

（２、３については改善が必要です。）

休日労働について

３割５分以上の割増率にしている	３割５分未満の割増率にしている	休日労働をさせているが、支払っていない
1	2	3

（２、３については改善が必要です。）

8　雇用保険の加入について

確認事項	従業員数	うち雇用保険加入従業員数	うち雇用保険未加入従業員数
当該指定管理施設で勤務する従業員の雇用保険加入状況	9	9	内4人免除（64才以上

確認事項	指定管理者による具体的な取組内容
従業員の雇用保険加入に関する取組	法令遵守市加入

確認事項	未加入とする理由
従業員に雇用保険未加入者がいる場合の未加入理由	未加入者無し、免除者4人

※調査対象となる従業員は、雇用形態（正社員、派遣社員、契約社員、パートタイマー等)に関わらず、当該指定管理施設において指定管理者と雇用契約を結ぶ指定管理業務にもっぱら従事する従業員(平成30年3月末における業務全体のうち、当該業務の割合が概ね50%以上の従業員)となります。

9　健康保険・厚生年金保険の加入について

確認事項	従業員数	うち健康保険加入従業員数	うち健康保険未加入従業員数	うち厚生年金保険加入従業員数	うち厚生年金保険未加入従業員数
当該指定管理施設で勤務する従業員の健康保険・厚生年金保険加入状況	9	8	1(75才以上)	8	1(75才以上)

確認事項	
従業員の健康保険・厚生年金保険加入に関する取組	法令遵守

確認事項	未加入とする理由
従業員に健康保険・厚生年金保険未加入者がいる場合の未加入理由	無し

※調査対象となる従業員は、雇用形態（正社員、派遣社員、契約社員、パートタイマー等)に関わらず、当該指定管理施設において指定管理者と雇用契約を結ぶ指定管理業務にもっぱら従事する従業員(平成30年3月末における業務全体のうち、当該業務の割合が概ね50%以上の従業員)となります。